

白銅株式会社 会社説明資料

2022年8月26日
白銅株式会社

- 1. 白銅株式会社の概要**
- 2. 中期経営計画（2022年度～2024年度）**
- 3. 2023年3月期第1四半期 決算内容**
- 4. サステナビリティ経営の推進**

白銅株式会社の概要

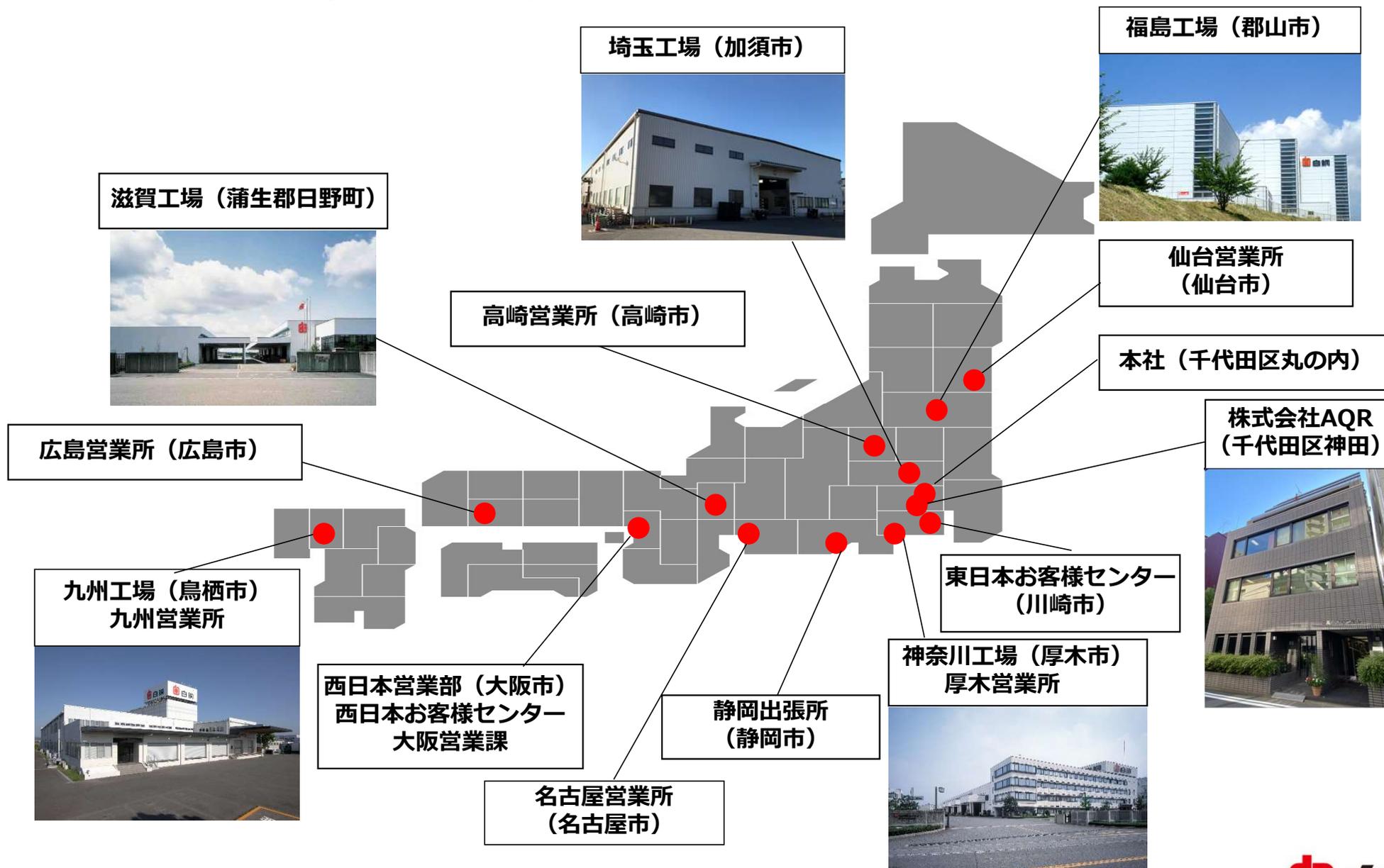
1. 会社概要

社名	白銅株式会社
創業	1932年2月
業種	非鉄金属卸売業
売上高	554億円（2022年3月期・連結ベース）
従業員数	773名（2022年4月1日現在）
上場市場	東京証券取引所プライム市場
事業内容	アルミニウム、伸銅、ステンレス、特殊鋼、プラスチック等の板、棒、管の加工・販売
機関設計	監査等委員会設置会社（指名・報酬等諮問委員会設置）
役員構成	社内取締役4名 社外取締役5名
連結子会社	国内 株式会社AQR 海外 上海白銅精密材料有限公司 Hakudo (Thailand) Co., Ltd.
取得認証	JIS Q 9100（神奈川工場・滋賀工場） JIS Q 9100（全社に認証範囲拡大） 2022年7月



2. 国内拠点

全国に10か所（子会社含む）の営業拠点と5か所の製造拠点を設置



3. 海外拠点

子会社と複数の提携企業により、中国および東南アジアに展開



4. 沿革



- 2022年4月 東京証券取引所 プライム市場へ移行
- 2020年6月 ベトナムOristar Corporation へ出資
- 2020年1月 滋賀工場にて航空・宇宙規格のJIS Q 9100を取得
- 2019年2月 株式会社AQR(旧高瀬アルミ)を完全子会社化
- 2017年11月 埼玉県加須市に埼玉工場を開設
- 2016年1月 神奈川工場にて航空・宇宙規格のJIS Q 9100を取得
- 2015年1月 金属3Dプリンターの造形サービスを開始
- 2014年10月 Hakudo(Thailand)Co.,Ltdをバンコクに設立
- 2008年5月 佐賀県鳥栖市に九州工場を開設
- 2006年2月 福島県郡山市に福島工場を開設
- 2005年9月 東京証券取引所第一部に上場
- 2003年5月 中国上海市に上海白銅精密材料有限公司を設立
- 2000年3月 JASDAQに店頭公開
- 1990年3月 滋賀県蒲生郡に滋賀工場を開設
- 1978年9月 材料の切断加工と小口配送を開始
- 1974年10月 神奈川県厚木市に神奈川工場を開設
- 1968年2月 コンピューターシステム導入
- 1967年5月 白銅株式会社に商号変更
- 1949年11月 株式会社白銅商店設立
- 1932年2月 白銅商店を個人創業



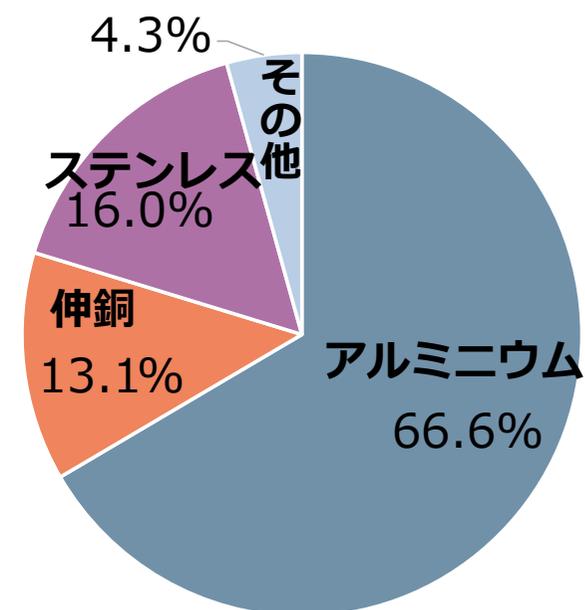
創業時の本社

5. 事業内容（当社取り扱い製品）

当社が取り扱う商品はアルミニウムや伸銅、ステンレス等の非鉄金属素材
重量や熱伝導性など、素材ごとに様々な特色があり、用途は多岐にわたる



【 品種別売上高構成比 】
(2023年3月期第1四半期)

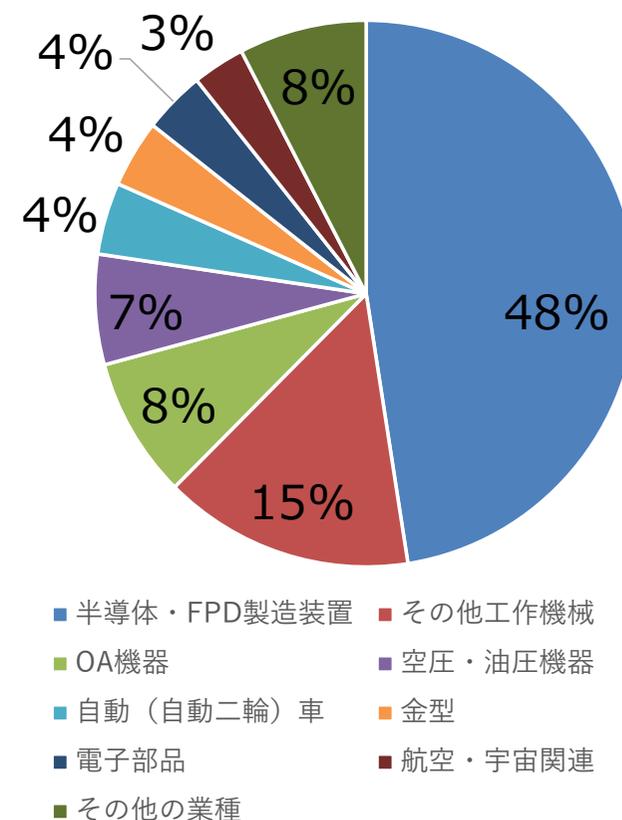


6. 事業内容（当社製品の用途/顧客業界）

半導体製造装置・FPD製造装置業界を中心に、民生の家電や航空機に至るまで、幅広い分野に使用されています。

品種	業界	使用用途例
アルミニウム	半導体・FPD製造装置	製造装置のチャンバー材
	空圧	エアシリンダー・マニホールド
	家電	部品等成型用の金型
	造船	LNG船
	航空機	航空機構造材・装備品
伸銅	FPD製造装置	ターゲット材
	自動車	部品
	半導体	リードフレーム
ステンレス	半導体・FPD製造装置	製造装置のチャンバー材
	食品	製造装置の部品

【業種別売上高構成比(国内)】
(2023年3月期第1四半期)



7. 事業内容（白銅の特徴）

従来の商社機能に切断・加工・配送サービスを組み合わせた白銅は、あらゆる種類の金属材料をご希望のサイズ・形状に加工し最短翌日にお届けします。

材料 × 形状 × 加工

アルミニウム
伸銅
ステンレス
普通鋼
特殊鋼
チタン
ニッケル
インコネル
亜鉛
タングステン
モリブデン
プラスチック
・
・

板
丸棒
四角棒
平角棒
アングル
四角管
平角管
・
・

丸鋸切断
バンドソー切断
ランニングソー切断
異形切断
サークルフライス
リングフライス
ロータリー研磨
サーフェス研磨
アルマイト
旋盤
マシニング
ウォータージェット
・
・

商品カテゴリー

標準在庫品

約5,400アイテムの金属材料を国内5カ所に在庫し、最短翌日に配達

お取寄せ品

当社が在庫していない種類やサイズの金属材料も国内外から迅速に調達

特注品

お客様のオーダーを受け、協力工場での加工や素材メーカーで製造する材料

金属3D造形

国内最大級の金属3Dプリンターで金属部品の試作品等を短納期で製作

材料×形状×加工の組み合わせパターンは無限大

8. 白銅の強み（標準在庫品販売）

白銅の標準在庫品販売は6つの利便性でお客様の手間と時間を節約します。

1. 豊富なラインアップ



アルミニウム、伸銅、ステンレス、特殊鋼を中心に、幅広い産業用素材を加工してお届けします。

2. 小口対応



1枚・1本・1グラムから、お客様のご要望に合わせてジャストサイズで加工し、全国にお届けします。

3. クイック・レスポンス



お客様センターが、FAX、電話、Eメール、ネットでの見積りやご注文、お問い合わせに、迅速に対応します。

4. クイック・デリバリー



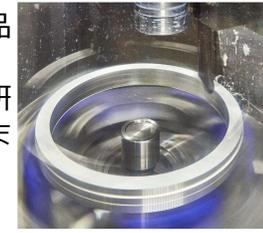
国内5ヶ所に在庫・加工センターを持ち、最短で翌日納品を実現しています。

5. 多彩な加工バリエーション



当社が在庫する全ての商品について、指定寸法での切断に加え、フライス、研磨などの加工にも対応します。

6. 高精度な加工



フライス加工や研磨加工では、板厚・巾・長さに加え、直角度、平行度や平面度まで精度保証します。



- お客様口座数 ⇒約13,000口座
- お見積り件数 ⇒約20,000件/日
- 標準在庫品の60分以内の回答率⇒90%以上
- ご注文件数 ⇒約10,000件/日

※2022年6月時点

9. 白銅の強み（特注品販売）

圧延、押出メーカー、部品加工メーカーとタイアップし、お客様のご要望に合わせて製作したオーダーメイドの材料や加工部品をお届けします。

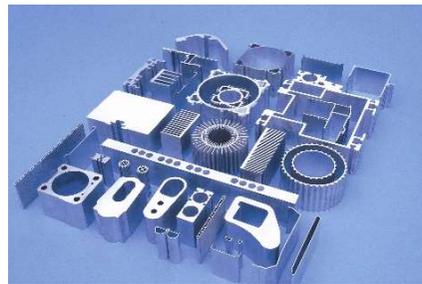
- 圧延品・・・半導体、FPD製造装置向けスケッチ材・チャンバー材
- 押出型材・・・空圧部品、シリンダーボディ部品、マニホールボディ部品
- 機械加工品・・・図面による注文で金属部品・製品、治工具等を製作
- 輸入金型および金型部品・・・プラスチック金型用、ダイカスト金型用

寸法指定でオーダーメイド



様々な材質の板を指定寸法で製作可能。

複雑形状でも高い寸法精度



製品に近い形状で押し出すことにより、材料の重量を軽減することができ、さらに加工工数の削減と合わせて、コストダウンに大きく貢献します

国内海外のネットワークを駆使



国内・海外のお客様と連携して形成した加工ネットワークを駆使して、最適な企業を白銅が選定し、機械加工品の提供をいたします

低コスト・高品質を実現



白銅グループが厳選した中国のモールドベースメーカーで製作した製品を徹底した品質管理の下に提供します

10. 白銅ネットサービス

- ・ アイテムを大幅拡充し、33,700アイテム(2022年6月末時点)がご利用可能
- ・ 副資材、工具、ネジ等材料以外の取り扱いも大幅に増加中
- ・ 流通業者向けネット販売サービスを展開中



当社標準在庫品約5,400点+提携仕入先在庫品約28,300点、合計約33,700点が24時間365日お見積り・ご注文可能



在庫状況、お届け日、注文状況、宅配便利用の場合は送り状番号が確認可能

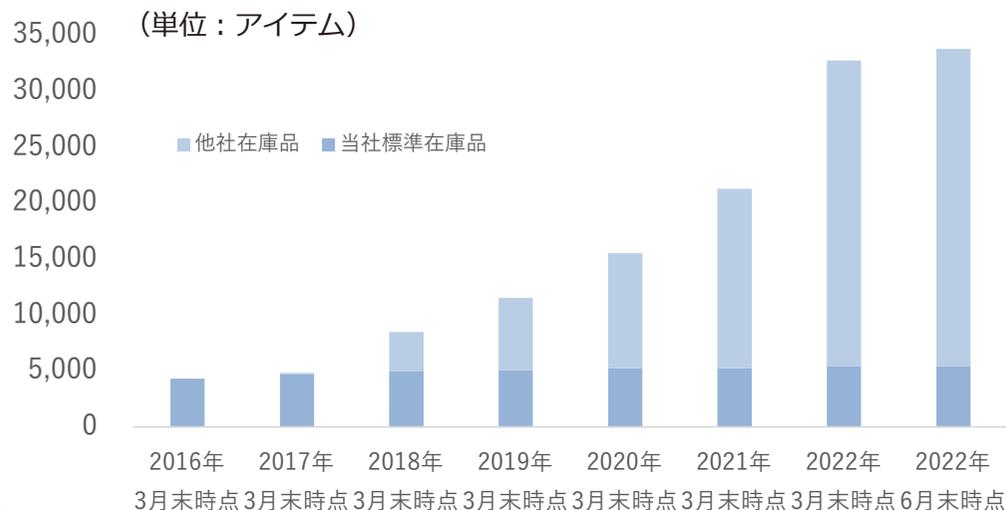


請求書、納品書はもちろん、ミルシート（検査成績表）も発行可能

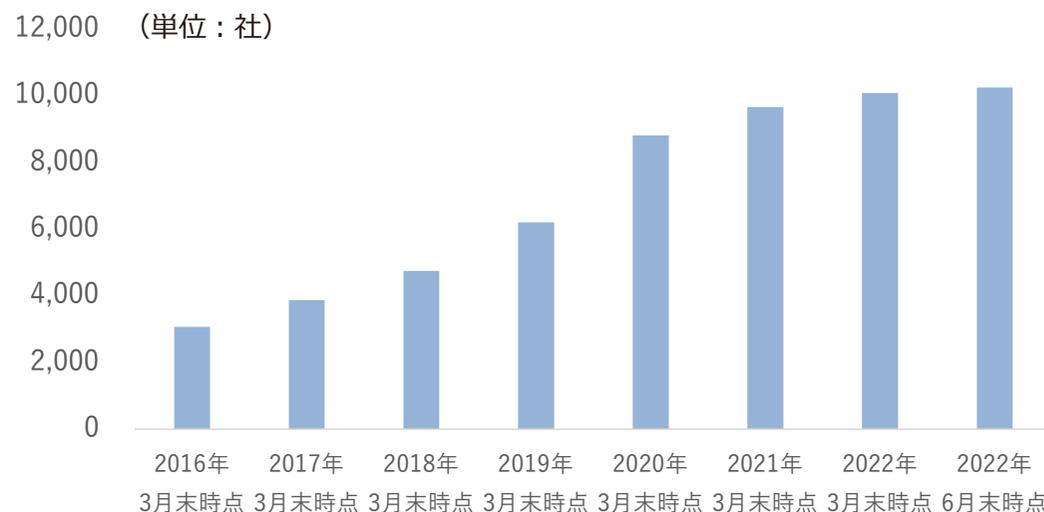


工具、副資材等、材料以外の取り扱いを増加、約13,000アイテムがご利用可能

【白銅ネットサービス ご利用可能アイテム数】



【白銅ネットサービスご利用登録社数推移（累計）】



中期経営計画（2022年度～2024年度） 前進「期待を上回る」

（ダイジェスト版）

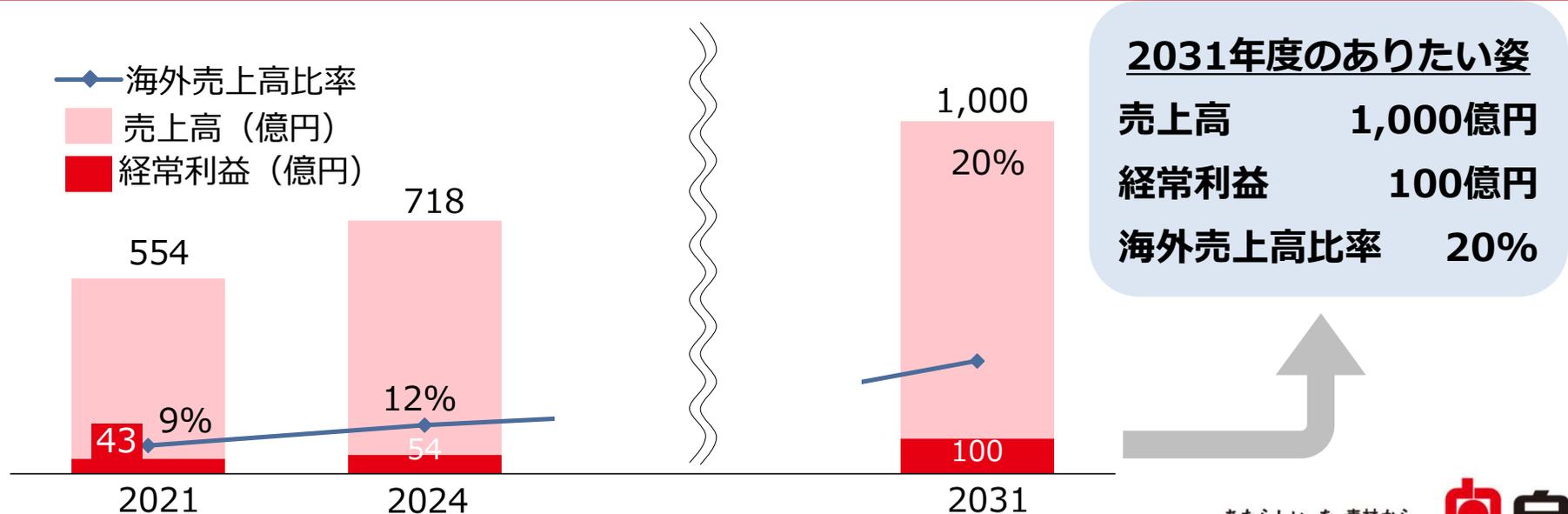
1. 2031年度の目指す将来像

「ダントツの品質、ダントツのスピード、ダントツのサービス、納得の価格」を通じ、
製造業のプラットフォーマーとして、
売上高1,000億円、経常利益100億円、海外売上高比率20%を目指します

中期経営計画の位置づけ



2031年度までの成長ステップ



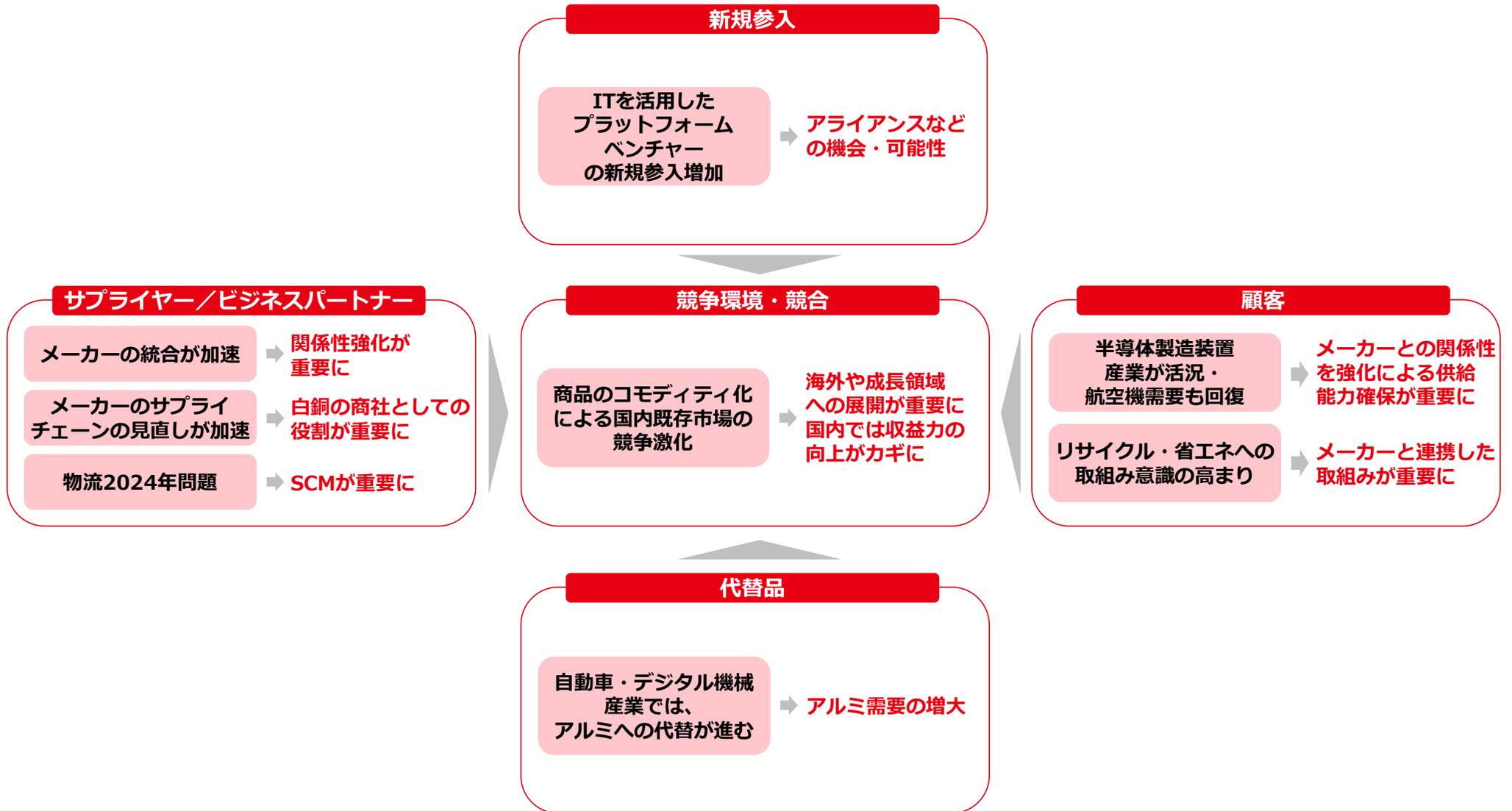
2. 経営目標・重要財務計画指標・株主還元の目指す水準

経営目標である売上高・経常利益の成長とともに、重要財務計画指標であるROICや営業CFの達成、配当性向40%以上の株主還元を目指します

	2021年度実績※		2024年度目標
経営目標	売上高	554 億円	718 億円
	経常利益	43 億円	54 億円
重要財務計画指標	ROIC	15 %	15 %
	営業CF	45 億円	47 億円
株主還元	配当性向	44.0 % (記念配当3.4%を含む)	40.0 %

3. 中期経営計画の前提となる外部環境の認識・見通し

加速する外部環境の変化に対応しながら、さらなる成長を目指します

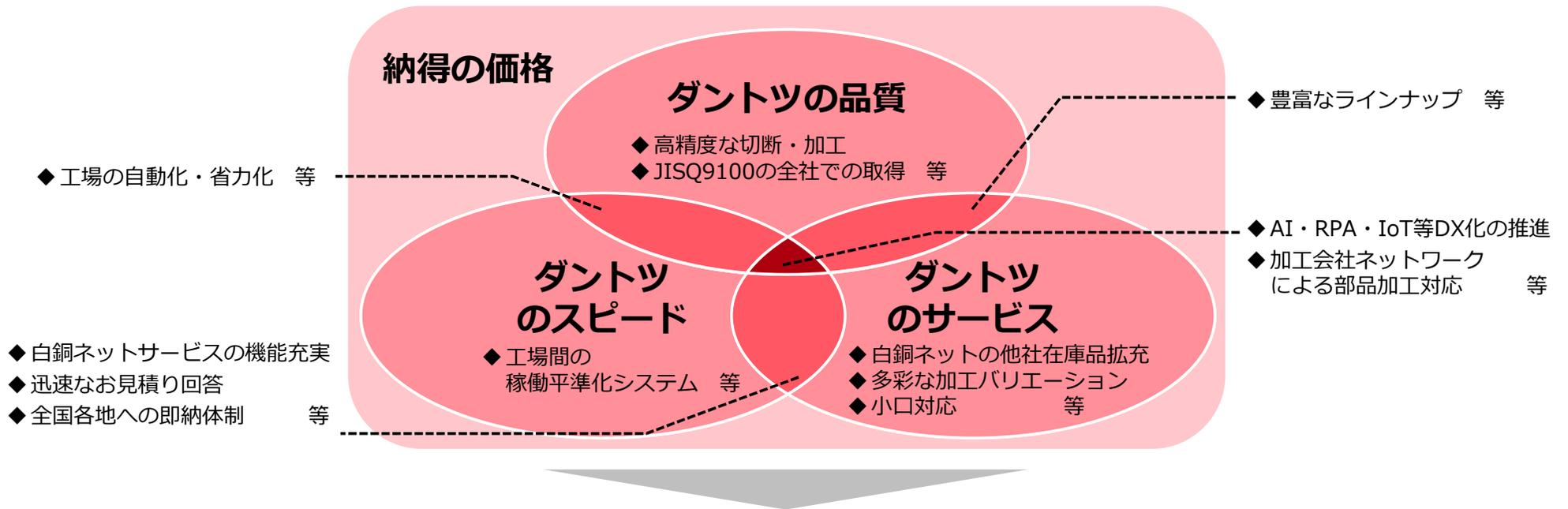


4. 重点戦略方針

「ダントツ」の価値提供を実現することで、顧客満足度の向上と、コア事業の深化・事業領域の拡大を目指していきます

「ダントツ」の価値とは

お客様の多様なニーズに対し、白銅ネットサービスや自社工場・加工会社のネットワークを活用することで、「ダントツ」の価値を提供していきます



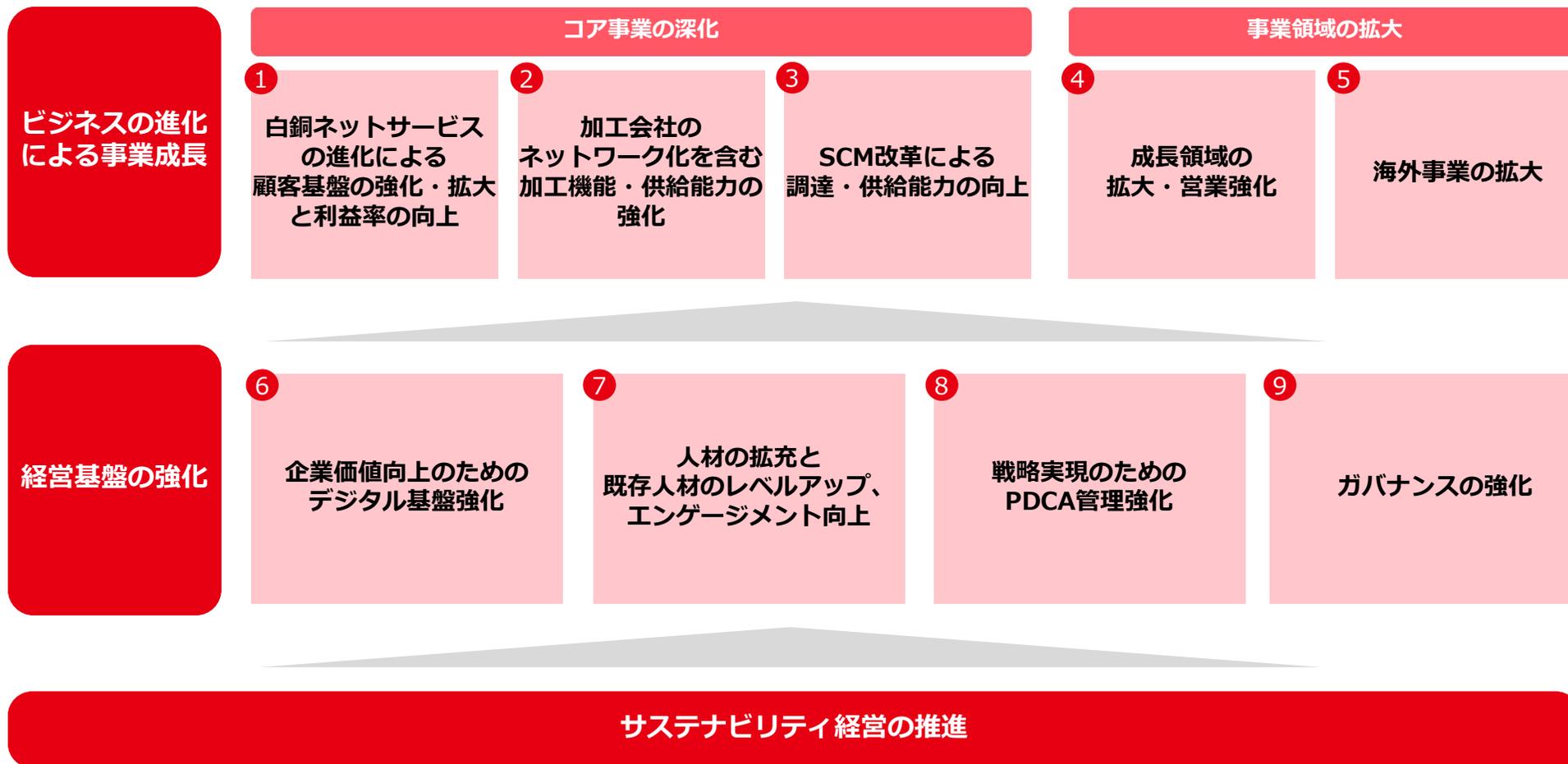
目指す方向性

- ◆ 顧客満足度の向上を追求することで、株主・従業員の満足も生み出し、その好循環により持続的な企業成長を図ります
- ◆ コア事業を深化させ顧客基盤の拡大と顧客満足を追求するとともに、事業領域を拡大し新たな価値を顧客・社会に提供します

4. 重点戦略方針

ダントツ戦略をベースに、2024年度までにビジネス進化と経営基盤の強化を図ります

経営課題と重点戦略方針



5. 事業戦略施策・基盤構築施策：投資計画

中長期的な事業成長を見据えて投資を実行します

投資項目	関連する重点戦略施策	投資額
供給能力強化・加工機能拡充	② ③ ④	45 億円
M&A・アライアンス強化	③ ⑤	25 億円
DX・白銅ネット強化	① ③ ④ ⑥	10 億円
合計		80 億円

※投資金額には重点戦略方針以外のものも含む

2023年3月期第1四半期 決算内容

(ダイジェスト版)

1. 決算ハイライト

売上高

16,062百万円
(前年同四半期比+ 27.1 %)

売上総利益

2,801百万円
(前年同四半期比+ 18.1 %)

経常利益

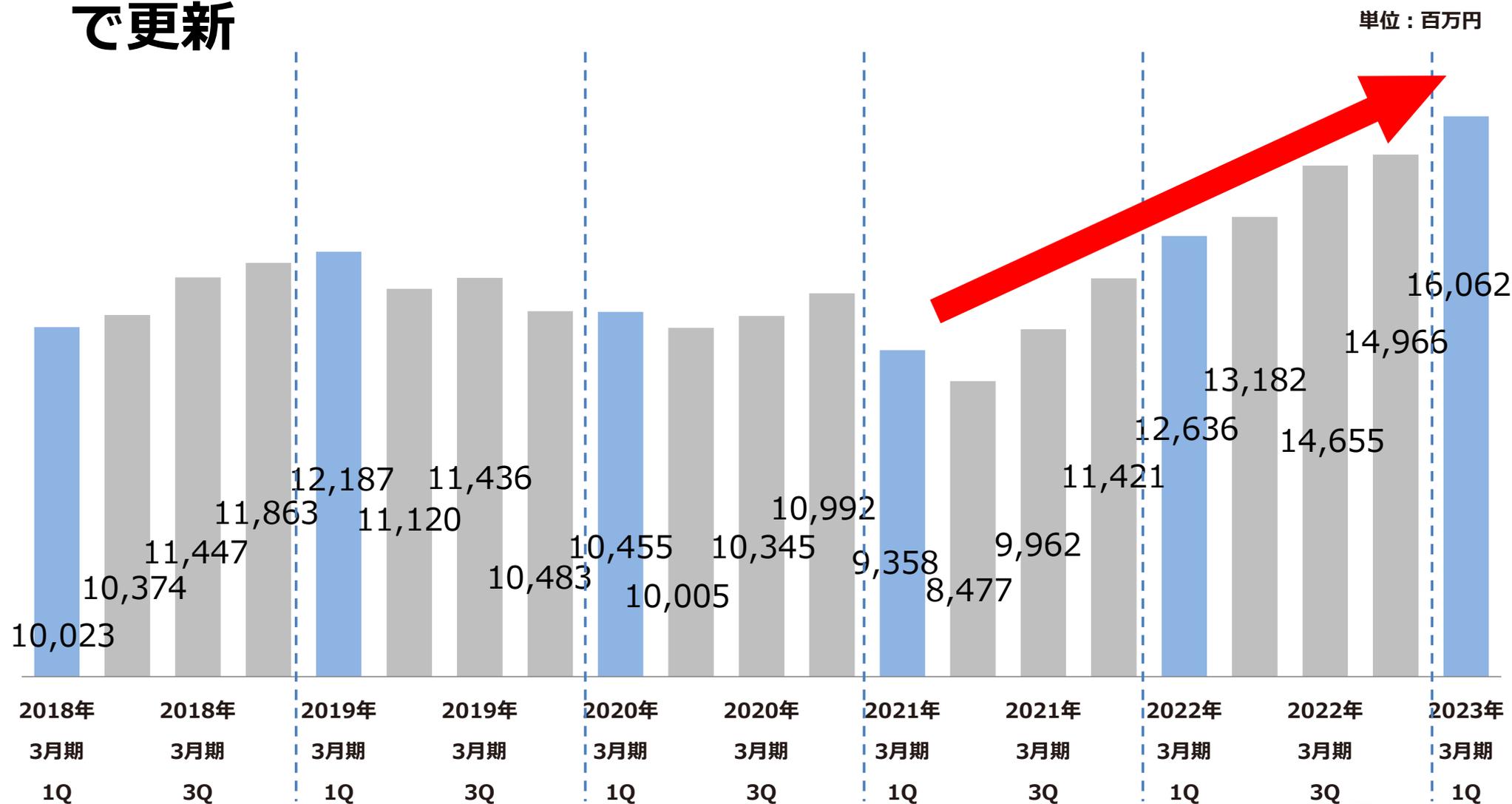
1,272百万円
(前年同四半期比+ 23.5 %)

2023年3月期第1四半期サマリー

- 半導体製造装置業界は、IoTやDX、AIの推進などによる半導体需要を背景に拡大が継続
- 前年同四半期比で大幅な伸張、前期に続き四半期ベースで最高値を更新。
- 主力のアルミニウムを中心に全品種の販売が前年同四半期比で増加
- 上海白銅精密材料有限公司は約2ヶ月続いた中国上海市の都市封鎖（ロックダウン）の影響を受け前年同四半期比減収減益も、旺盛な半導体需要を中心に国内売上高が全体をけん引

2. 売上高の四半期毎推移

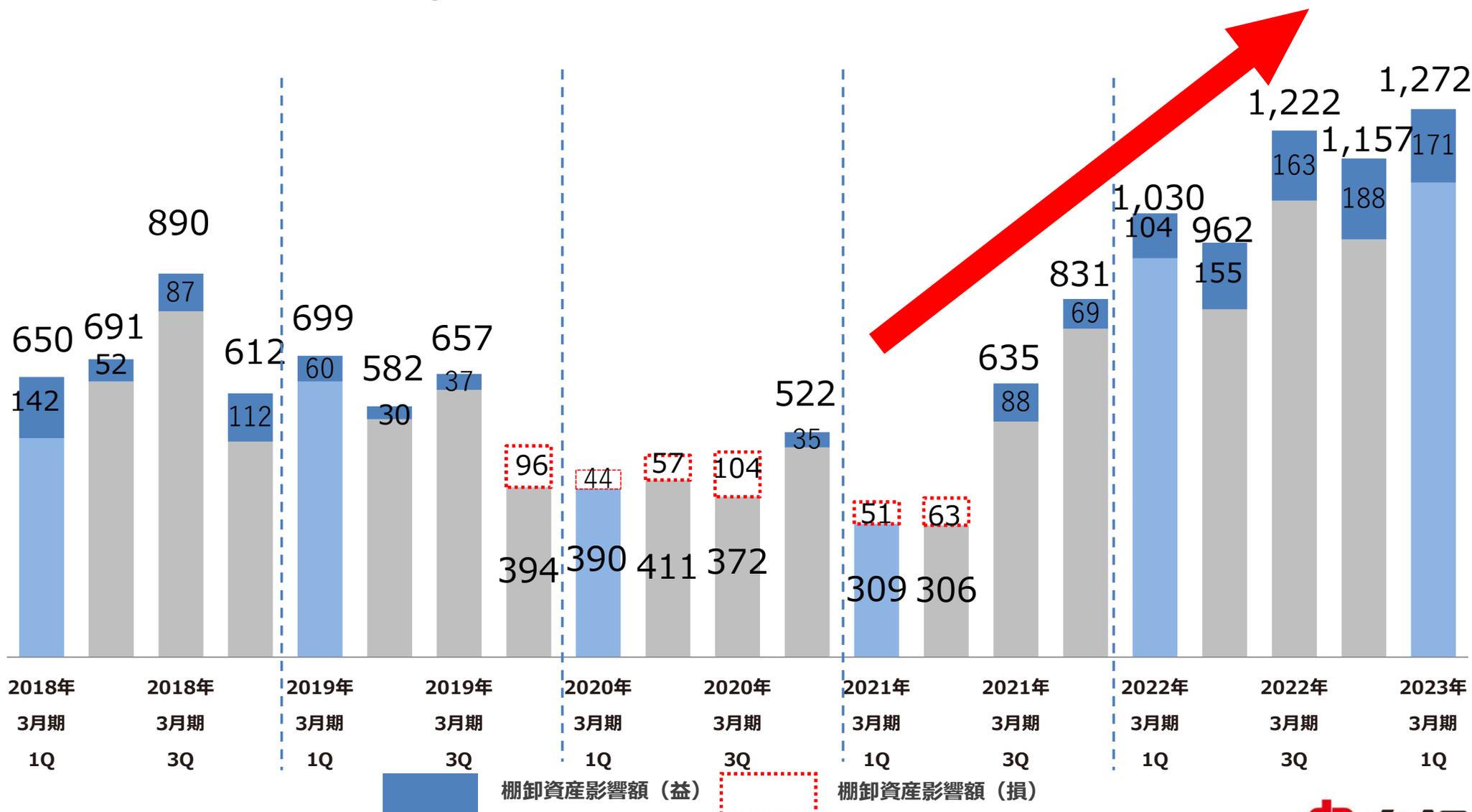
2021年3月期第2Qを底としてコロナウイルス感染症の影響から回復し、旺盛な需要等を背景に過去最高値を連続で更新



3. 経常利益の四半期毎推移

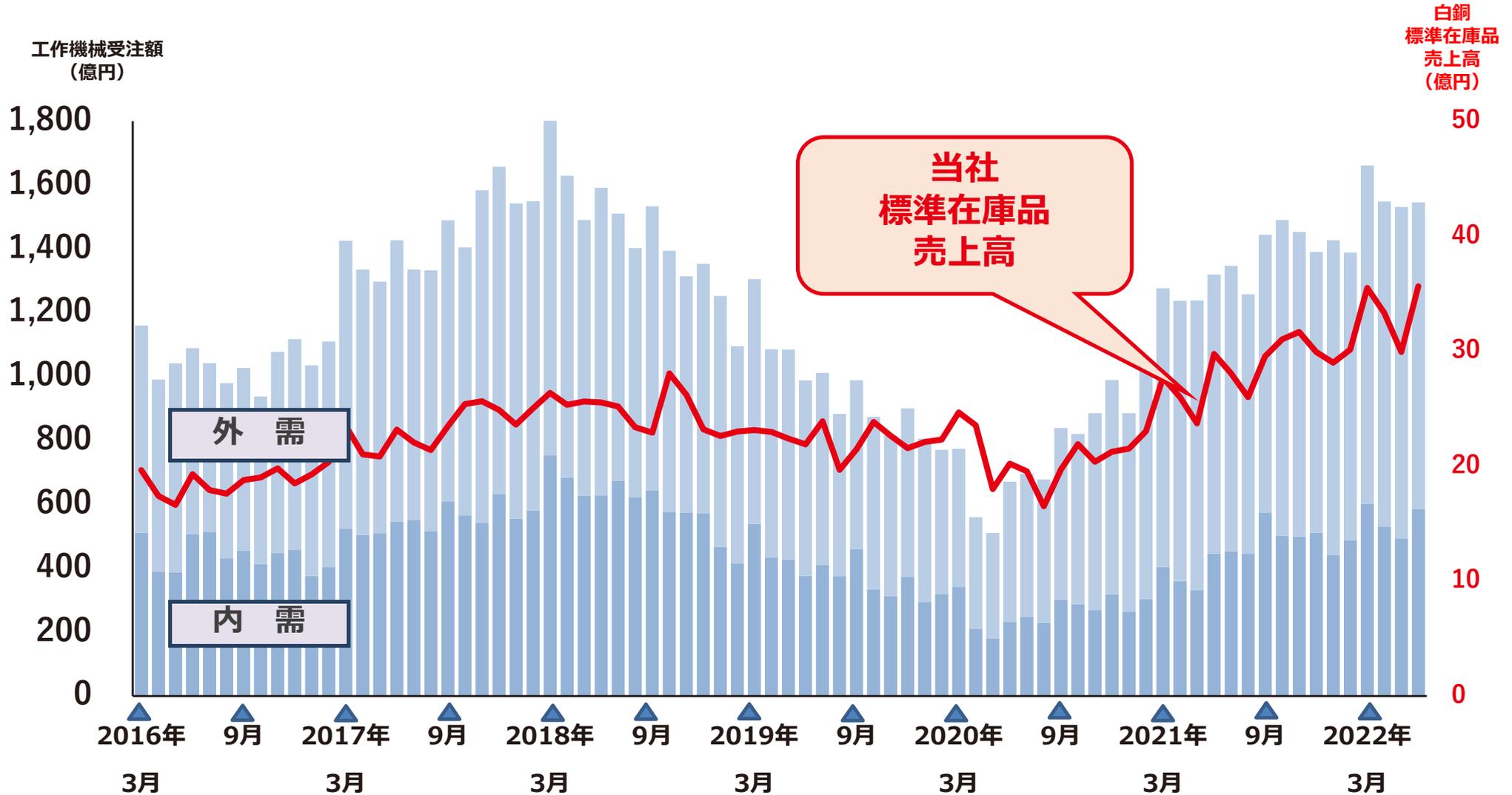
2021年3月期第3Q以降、経常利益水準は増加傾向
2023年3月期第1Qも売上高増加等により好調継続

単位：百万円



4. 事業環境 工作機械受注額と標準在庫品売上高との比較

工作機械受注額は外需を中心に引き続き回復傾向



出典：日本工作機械販売協会 工作機械受注統計

5. 2023年3月期 通期連結業績予想

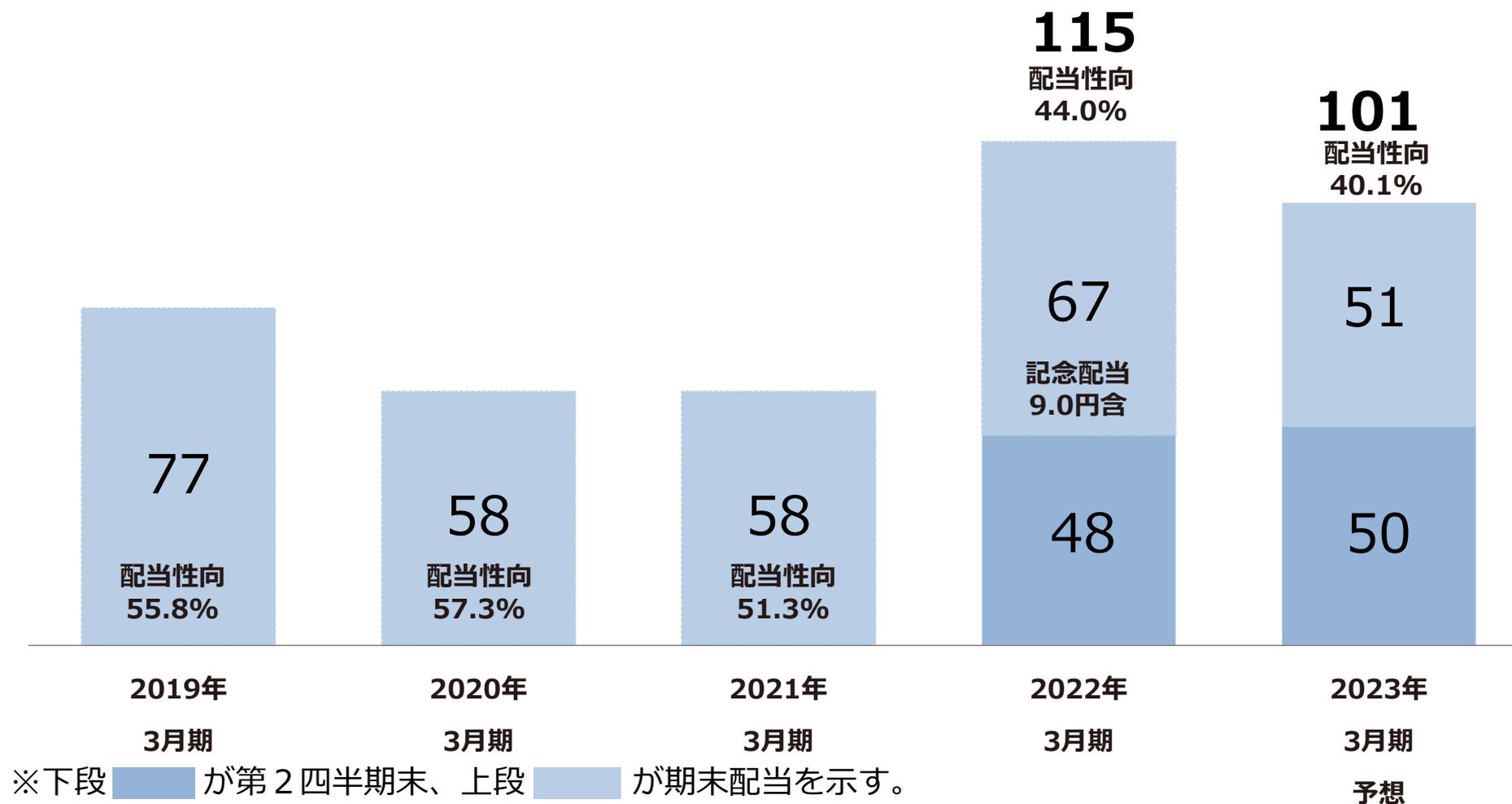
業績予想に対する進捗率は良好に推移

(百万円)	2022/3期 実績	売上高比	2023/3期 通期予想	売上高比	対連結 会計年度 増減率 (差額)	通期予想に 対する 第1四半期 進捗率	通期予想に 対する 半期予想の 比率
売上高	55,441	-	62,100	-	12.0%	25.9%	49.4%
営業利益	4,256	7.7%	3,970	6.4%	△6.7%	30.5%	49.6%
経常利益	4,373	7.9%	4,080	6.6%	△6.7%	31.2%	50.0%
棚卸資産影響額 (△は損)	610	1.1%	171	0.3%	△439	-	-
経常利益 (棚卸資産影響前)	3,763	6.8%	3,909	6.3%	+3.9%	28.2%	47.8%
親会社に帰属する 当期純利益	2,964	5.3%	2,860	4.6%	△3.5%	31.0%	50.0%

6. 配当予想～1株当たり配当金の推移～

配当性向40%以上を原則としています

(単位：円)



サステナビリティ経営の推進

サステナビリティ経営の推進

ESG/SDGs経営委員会を設置、各分科会でマテリアリティに対する取り組み実施中

マテリアリティ（重要課題）		具体的な取り組み	KPIの例	関連するSDGs目標	
1.	環境負荷軽減・ 気候変動対応	事業上の環境負荷を軽減するとともに、環境に配慮した製品を通じて社会に貢献します	<ul style="list-style-type: none"> ● CO₂排出の削減 ● 資源の節約・枯渇抑制 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 出荷重量あたりのCO₂排出量削減 	
2.	責任ある サプライチェーン の構築	サステナブルなサプライチェーンの構築に責任をもって取り組みます	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境配慮製品の強化 ● グリーン調達の促進 ● サプライヤーとの関係強化 ● 人権の尊重 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ECO商品販売量目標 ✓ グリーン調達率 	
3.	社会への取り組み	パートナーシップの取組みを推進し、新しい価値の創造や地域社会への貢献を目指します	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域社会への貢献 ● 産学協働 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地域社会、団体への寄付実施 ✓ 産学協働検討案件数 	
4.	人材への投資	多様な人材が働きやすい組織を目指し、高い従業員満足度を実現します	<ul style="list-style-type: none"> ● 従業員満足度の向上 ● ダイバーシティの促進 ● 健康で働きやすい環境の整備 ● 社員教育の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 離職率 ✓ 女性管理職比率 ✓ 一人当たり教育投資額 	
5.	コーポレート ガバナンス	コンプライアンスやリスク管理を徹底し、円滑な事業運営に寄与します	<ul style="list-style-type: none"> ● コンプライアンスの強化 ● 情報セキュリティの強化 ● リスク・危機管理の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ リスク評価ポイント 	

ご清聴ありがとうございました。

■本資料における注意事項

この資料には、2022年8月現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

■お問合せ先

白銅株式会社 経営企画課
メールアドレス：hkdkeiki@hakudo.co.jp
ホームページ www.hakudo.co.jp